正義を叫ぶ
全静岡の市民諸君に訴ふ！

親愛なる市民諸君！

私達は勝見下駄工場の従業員であります。工場主勝見銀蔵は本月突然なにの豫告もなく営業上の都合と云ふ口実のもとに猫の額ほどの手当で首を切ろうとしました。営業上の都合とは真赤な嘘で私達は叱の不景気に大根やカブを切る様に次々と首を切られては其の日から

かゝあやせ供を養ふどころか ヒボシになるより しかたがありません

皆んなで 復職をお願いしに工場主勝見は官憲

職工場の周囲に張番をして 私達が交渉に行つたら やはり嘆願

を突き返し 一緒に行つてくれた 労働組合の人達をも数名の官憲

が取りまいて 検束して行きました 私達のこのおとなしいお願を官憲と

この下に ふみにじってしまったから やむなく 最後の労働者の武器 ストラ

イキを以て強慾非道な工場主勝見銀蔵と戦つてゐるのです。

親愛なる市民諸君！

工場主勝見は 私達職工に対し余まで家に毒語に絶する惨虐と酷使を

平気でやつて来てゐるのです 徒弟工には月給の小使錢ビタ一文もくれず

酷き使い 小使錢が欲いなら夜業をやれその手伝をしれと云つて

二円か三円の小使錢を働き賃をとれるのです。このアイヤシの小使錢か

ら出し合つて徒弟仲間で たのしみに 野球道具を買つたところ 徒弟

が野球をやるなんて生意気だと 野球道具(價格六十円)を焼き却てしまった 徒弟の中で怖かれた野球道具がコイシクて はいたかき廻はしてゐ

たら「そんなものにまだ未練があるのか」と 親で徒弟をけたたましく なんと云

ふ惨虐なことをするのでしよう。それ ばかりでない 勝見工場にたゞ業間の男子を

入れて お禮奉公の一年たつた徒弟が急に体が悪くなり家で死亡シ

ましたのです 徒弟の親達は親方(勝見)の所に通知をしなければ悪きと

便を出しましたが 葬式にも来ません 其の後工場で職工に話しをする 「葬

式に行けば香典の金がいるからなあ」と 話した これが赤い血の通つてゐる人間の

やりかたでせうか 又一昨年工場移転の時 職工を一ケ月も休当待遇で働

かせ給料どころか 祝儀一錢もくれません

親愛なる市民諸君！

新興として職工の血を搾りとつてわずかな間に十数万円の資産をこしらえ

立派な家に住い 借家の十数軒を持つて子供を女学校や中学校に通はし

てゼイタクさんまの暮をしてゐるのです こんなブルジョワ非道な

勝見銀蔵に対しては 私達は和に かゝりつゝ ある 戦が有へてあります

正義を叫ぶ市民諸君の慰慶をお願いして 私達の怨慶を声明する

次第であります

強慾非道な勝見銀蔵を知つてゐるか！

労働者の要求をフミニジル官憲を糾弾しろ！

應援金・激文・賜プシの強い斗士を送つてください！

二月十四日

静岡市[illegible]